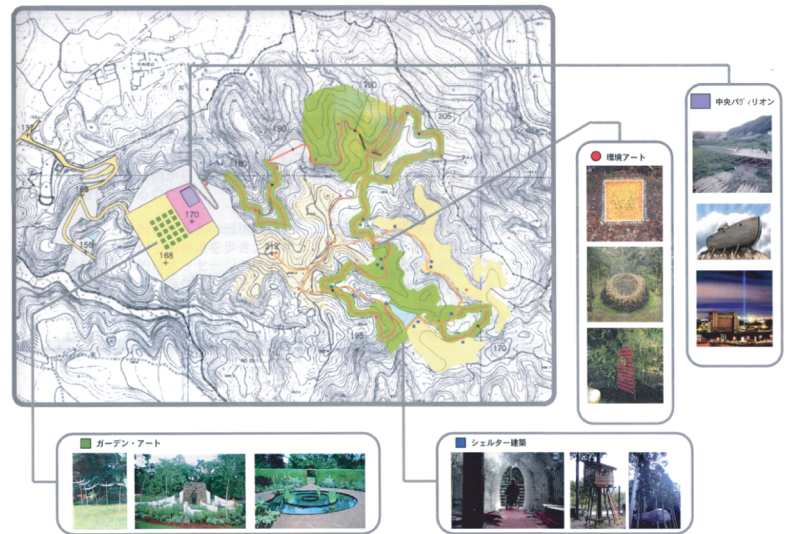
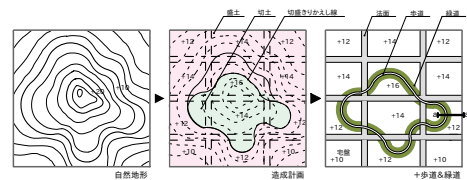
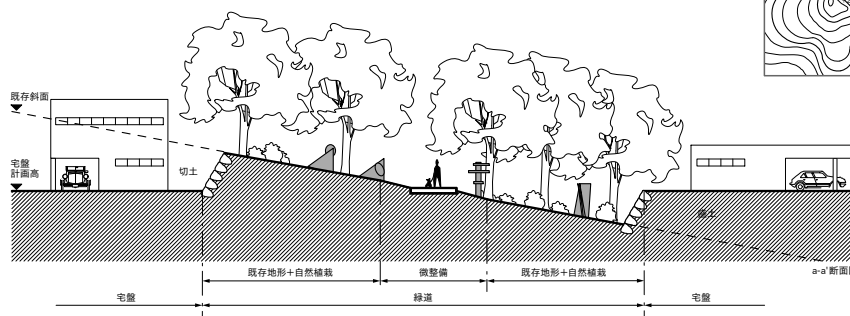


彩都エコアートパーク 段階利用計画
Saito Eco Art Park
大阪府 Osaka 2002- S2

規模Size 20ha
施主Client 国際文化公園都市株式会社
企画Planning Nanjyo and Associates
業務内容Design Phase
基本構想 Master Planning



既存の自然や地形を活かす、段階的な開発。
エコアート(環境をとらえた文化)が骨格となる街づくり。



■目的達成のための方法として
・切盛りかまし線を利用する。
(※切上と盛土のせりかまし部分、連続した線で出来ており、既存の高さが切盛りかまし線に沿って歩道をつくり、その周辺にアート作品を点在させる。緑道として、造成後も恒久的に、自然とアート作品を残すことができる。)

■利点
◎造成後も自然や地形の痕跡が残る、土地の風土が保存される。
◎造成後も、主幹系のコリドー(通り道)が残る。
◎歩道とオープンスペースを結んだネットワークが形成される。
◎「アートの小道」として、緑道に沿ったアート作品を残すことができる。
◎段階工事計画とする際、工事区画のバッファーとして利用できる。

